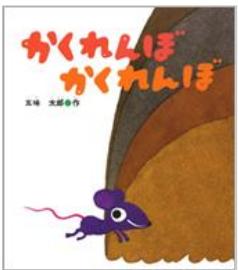
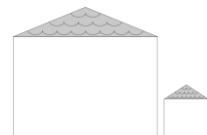


シータータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> ・保：「もういいかい、まだだよ」とゾウの後ろに大きい順に4種のペーパーサートを重ねて持ち、講師の背中の後ろから「チラッ」とゾウを覗かせるように登場させる。 ・講：「あれ？誰か隠れてる？」子ども達の発言を受けて「みんなで、み一つけたって言ってみようか？」と誘いかけ、声を揃えて「ゾウさんみ一つけた」と声をかける。 ・保：「み一つかった」とゾウ登場させる。 ・講：ペーパーサーを受け取り「あれ？ゾウくんの後ろに誰か隠れてるよ」と言いながらチラッと後ろから見せて「カバ」→「キツネ」→「ネズミ」を「み一つけた」のことばと共に順次登場させる。最後に「動物さん達かくれんぼしているんだって、楽しそうね。どんな風にかくれんぼしてるのか、ちょっと覗いてみましょうか？」とお話を始める。 	<p>教材</p> <p>★絵本 ★iPad(シアターセット) ペーパーサート4種</p>	
	<p>①徐々に大きな動物に変化していく場面を通して大きさの違いが実感出来るよう演出する。 ②「かくれんぼ」遊びに興味が持てるよう「もういいかい」「まだだよ」「み一つけた」「みつかった」のことばを子ども達と一緒に言いながら読み進めていく。</p>	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーサートの提示 ・子ども達と一緒にになってお話を楽しむ 	

がくしゅうタイム

読み方	活動①	比較①	動物の身体の大きさ(大・小)を比較してかくれんぼ遊びを一緒に楽しむことができる。	
活動内容	ゾウとネズミと一緒にかくれんぼ遊びをしましょう			<p>教材</p> <p>ゾウ・ネズミカード (1人1セット)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「み一つけた！みつかった！ってみんな楽しそうだったね」 ・保：「みなさん、こんにちは」ゾウの後ろにネズミを隠して登場。 ・講：「あれ？ゾウさんだけかな？」 ・保：「いるよ！」とゾウの後ろからネズミを「こんにちは」と出して見せる。 ・講：「あ、居た！あれ？また居なくなっちゃった。(ゾウの後ろに再び隠す) みんなで、み一つけたって言ってみようか？」と誘いかけ、「ネズミさんみ一つけた」と声をかける。 ・保：「見つかった！」とネズミを登場させて講師に渡す。 ・講：「今日は友達も来てるから、みんなでかくれんぼしない?だって」「かくれんぼしたい人」と子ども達の意欲を引出し、カードを配布。子ども達と一緒にそれぞれの動物の名称と「大きいの(小さいの)どっち？」と大きさの違いを確認する。また手の平を基準にして「ゾウさん隠れるかな？隠れないね」などと楽しく比較して確認後、かくれんぼ遊びを楽しむ。 ・子：講師と一緒にになって確認後「♪かくれんぼ、かくれんぼ」と実際にカードを重ねたり「み一つけた」「みつかった」としばらくかくれんぼごっこで楽しむ。(このまま<活動②>へ進む) 			<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゾウ、ネズミカード提示、配布 ・理解できない子のフォロー ・個別に声掛け、盛り上げる
活動内容	活動②	比較②	「大・小」大きさの違いを理解してそれに合ったドアの家に入れてあげましょう	
	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「そろそろお家に帰る時間みたい、ゾウさんネズミさんのお家はどこかな？」 			<p>教材</p> <p>P1(ドアカード・弱両面テープ付き)</p>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保：「ここですよ」とプリント提示 ・講：プリント受け取る。 			<p>活動①で使ったゾウ・ネズミカード</p>

数にチャレンジ

- ・講：「動物さんはいくつかな？皆で数えてみようか？」とカードを1つずつ左右に持ち「ゾウさんとネズミさん、いち・に…全部で2」と確認。同様に「ドアも数えてみよう。いち・に…全部で2」と指さし数えて同じ数であることを確認する。

・講：見本行動。

「ゾウさん（ネズミさん）のお家はどっちかな？」と子どものことばを拾いながらも、ゾウを小さいドアに入れ「小さすぎる、入れないね」と間違え行動も見せながら、それぞれの大きさに合うドアに入れる。

※ドアの中には弱両面テープが付いています。予めはくり紙を剥がしておきましょう。カードの取り外しできるので、自由に遊ぶところも合わせて見てあげると良いでしょう。

「みんなのゾウさんネズミさんもお家に入れてあげられるかな？」

・保：プリント配布。

・子：講師同様、間違え行動も含めてドアの開け閉めやカードの出し入れを十分楽しみながら、大きさの合うドアに入れていく。

・講：子ども達の様子を見て途中カードをドアに入れた状態で「かくれんぼ、かくれんぼ。大きいゾウさんはどっち？」「ピンポン！みつけた」などと全体で一緒にかくれんぼ遊びに発展させても楽しい。

「そろそろお昼寝の時間だって、楽しかったね、また遊ぼうね、ばいばい」とそれぞれのドアを閉めプリントを回収して終了する。

保育士の役割

- ・プリント持って登場
- ・プリント配布
- ・ドアの開閉や理解できない子のフォロー
- ・個別に声掛け、盛り上げる
- ・称賛
- ・プリント回収

数チャレ

ねらい

数

それぞれ指でさしながら数えることができる。

教材

設問

動物さんとドアはそれぞれいくつある？数を数えてみましょう

内

※<活動②>の中で実施します。

保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	「もういいかい」「まだだよ」の掛け声を子ども達と行ったか
活動① 比較①	カードを重ねたり、手の平にカードを乗せて「大小」の比較を指導したか
活動② 比較②	間違え行動を大袈裟に見せながら提示を行ったか
数チャレ	活動①に含む：個別対応を行ったか

練習タイム♪

今月のえかきリズム

*** テーマ・興味 ***

*** あめ ***

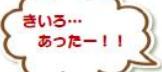
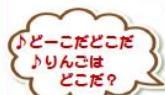
かくれんぼ遊び

<遊び方>

下の写真の様に複数の色紙や紙コップなどの下や中に隠したものを見つける遊びです。

※隠すものは子ども達が大好きで、欲しいと思えるものが一番です。おやつなどは夢中になって見つけようとしますよ。

※中の見えない蓋つき容器なら振って確かめようしたり、中の物を出すため指先を使うなど、知恵・巧緻性を高めることもできますね。工夫次第で色々と広がる遊びです。



子ども達は「わくわく」「どきどき」の見つけっこが大好きです。

えかきリズム
の動画は
こちら



練習タイム
の動画は
こちら

